

第2回7月難関大本番レベル記述模試地理B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字、脱字、漢字間違いは0点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は0点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ0点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については、漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について、スロヴェニア⇔スロベニア、パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には、適宜加点。ただし、満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 字数オーバーは0点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合、論理が合わない場合などは1点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で、下線が引き忘れてある場合は1点減点。

（\*減点しなくていい要素，その他の注意）

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合、その部分は0点だが、減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は、内容的に整合性が取れていればよく、字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

1	<□□□□>	加点ポイント
2	□□□□x	事実に誤認あり
3	□□□□?	文意不明
4	□□✓□□	誤字あり／脱字あり

**4 設問別加点要素**

- 1) \_\_\_\_\_部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。

**1**

問2 4点

亜熱帯高圧帯は7月頃に北上し、1月頃に南下する。Bでは7月頃、Fでは1月頃に亜熱帯高圧帯の影響を受けて乾季が形成される。(60字)

【加点ポイント】

- ①Bでは7月頃に亜熱帯高圧帯(中緯度高圧帯)の影響を受けて、乾季が形成される →1点
- ②Fでは1月頃に亜熱帯高圧帯(中緯度高圧帯)の影響を受けて、乾季が形成される →1点
- ③(①・②の理由として) 亜熱帯高圧帯は、7月頃(夏季)に北上し、1月頃(冬季)に南下する／南北に移動する →2点

問4 (2) 3点

年間を通じて吹く偏西風を動力源とするための風車がみられる。

【加点ポイント】

- ①風車 →1点
- ②(①の説明として) 偏西風を動力源とする →1点
- ③(偏西風の説明として) 年間を通じて吹く／恒常風である →1点

**2**

問3 (3) 5点

降雪や急峻な山地、火山に乏しいため、ウインタースポーツや温泉を楽しめる長野・北海道への訪問率が高い。(50字)

【加点ポイント】

- ①特徴：長野／北海道への訪問率が高い →2点
- ②(①の理由として) ウインタースポーツ／温泉を楽しむことができる地域である →2点
- ③(②の理由として) (オーストラリアは) 降雪／急峻な山地／火山／温泉に乏しいため →1点

**3**

問3 4点

D国は産業の多角化を進めることで原油輸出依存からの脱却を図っており、E国は天然ガスの輸出が多いため。(50字)

【加点ポイント】

- <D国(アラブ首長国連邦)>2点を超えない  
★問2で「D=アラブ首長国連邦」を正解していることが加点の前提
- ①D国は産業の多角化を進めている／金融業・観光業などに力を入れている →2点
  - ②原油輸出依存からの脱却を図るため
- <E国(カタール)>2点  
★問2で「E=カタール」を正解していることが加点の前提
- ③E国(カタール)は天然ガスの生産／輸出が多い →2点

4

問5 5点

ラサとシーニンを結ぶ青蔵鉄道の敷設など、インフラ整備を主とする西部大開発の推進で、自治区内に漢民族の流入が増えたため。(59字)

【加点ポイント】

- ① 西部大開発が推進されている →2点
- ② (①の説明として) インフラ整備を中心とする／沿岸部と内陸部の格差を是正する →1点
- ③ (①の具体例として) 青蔵鉄道の敷設／西電東送／南水北調／西気東輸など →1点
- ④ (①の結果として) (チベット自治区内に) 漢民族の流入が増えた →1点